

## 第2編 第2章 産業と資源

### ⑥工業の立地と工業地域の内容

#### ③ 現代世界の工業と多国籍企業① —自動車工業— (教科書 P. 140~141)

##### ▶多国籍企業と工業立地 [p. 140]

①現代世界の工業立地… [ ] の戦略と、その工場立地に左右される

##### ②多国籍企業

- ・工場の配置… [ ], [ ] ・部品調達, 工場間の [ ]などを考慮  
→世界的視野で最適立地
- ・ [ ] ・支店 (販売・管理), [ ] 部門  
→世界の市場動向に対応させて配置

##### ▶自動車工業の立地 —市場に応じた事業所配置— [p. 140]

##### ①自動車工業の多国籍企業

- ・自動車は労働集約的 (生産に熟練を要する工程が多い)
- ・本国と海外の市場周辺地域に生産拠点  
→ [ ] や [ ] に対応させて, 研究・開発・生産などの各部門を配置

##### ②国の産業政策や立地政策との関連

- ・関連産業 ([ ], [ ], [ ] など) を含め経済への影響大  
→自動車工業の保護 ([ ], [ ])

##### ③EUの自動車工業

- ・ [ ] へ進出 (1990年代) …安い [ ]

##### ④日本の自動車企業

- ・ [ ] 諸国や [ ] … [ ] の構築

##### ⑤2000年以降の展開

- ・アメリカ, EU, 日本の自動車企業  
→ [ ] や [ ], [ ] へ進出  
→成長 [ ] の確保, コスト削減, 各国の政策への対応

▶ (Column) 自動車工業の立地と変容 [p. 141]

①1970年代まで

- ・多数の部品工場, すぐれた技能をもつ労働者  
→ [ ] に立地

②1980年代…価格競争の激化 (←日本やアジアでの生産拡大)

- ・先進国…作業の標準化, [ ] の導入  
→大都市から離れた地域への分散 (← [ ], [ ])

③貿易摩擦

- ・日本企業… [ ], [ ] での現地生産  
→既存の集積地域, 分散立地 (→新たな工業地域の形成)